

令和6年度決算審査評価事業 調査報告書

(都市経済分科会 No.3)

(所属課, 事業コード) 事業名	(施設管理課, 3322) 道路維持補修費 ※P41	
予算額	令和6年度決算額	303,588千円
	令和7年度決算見込額	289,588千円
	令和8年度当初予算額(案)	241,566千円
<p>【決算審査における検討点, 争点】 (令和6年度決算審査での提言等) 安全面や業務の効率化には今後も継続して取り組んでいただきたい。 市民からは修繕要望が通らない箇所があるとの声も聞かれるが、これは施設管理課の問題ではなく、市全体の財政問題に起因すると認識している。 また、人件費や資材費の高騰により、補修に係る費用も高騰する傾向にあることから、今後の予算確保が課題である。仮に、本事業に係る予算が拡充されることで、他の関連する事業の予算が縮小にならないよう部単位での予算枠の拡充も期待したい。 今後は、予算を拡充し適切な道路の維持管理を行うことにより安全の確保を図るとともに、生活環境の向上に努めることを期待して分科会評価は「拡充」とする。</p> <p>【当初予算への反映状況】 (決算評価がどう当初予算へ生かされたか) 令和8年度当初予算案では、道路の危険箇所の補修・修繕、舗装修繕、除草等を継続して実施する内容となっている。 また、前回提言を受けて予算確保及び部単位での予算枠拡充に向け財政課と協議を進め、不足が見込まれる場合には補正要望も検討する方向性を確認した。 一方で、当初予算額は前年度比減となっており、決算審査における「拡充」の提言が十分に反映されたとは言い難いものの、予算確保に向けた協議と継続的な事業実施の姿勢は確認できる。</p> <p>【調査結果】 (総括) 令和6年度決算審査で示された、安全面の確保、業務の効率化、予算確保及び部単位での予算枠拡充といった意見については、令和8年度当初予算案において一定の対応は図られているものの、十分な反映には至っていない。 しかしながら、危険箇所への継続的な補修・修繕や要望管理の効率化に取り組む方針は確認でき、限られた財源の中で安全確保に努めていることは評価する。 今後は、人件費や資材費の高騰、市民要望の増加等を踏まえ、必要な予算確保に努めるとともに、より効果的な事業執行を図られたい。</p>		